

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

4.15

目次

すべての人が暮らしやすいまちを 目指して(田原市人権ファンクション委員会)	2
私の歩み方(尾川智子さん)	4
学校は今… 学校生活の一コマを紹介	5
たはらシティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

サンテガーデンの
お花畑へおいでよ!





すべての人が暮らしやすいまちを目指して

田原人権ファンクション委員会の活動報告

田原人権ファンクション委員会は、市民を中心に組織され、文部科学省から委託を受けた「人権教育推進のための調査研究事業」に取り組んできた団体です。今回は、副会長の小林さんから、障害者の人権教育を推進するために、2年間取り組んできた活動報告が届けましたので紹介します。

活動内容

委員会は、障害児の保護者や田原市手をつなぐ育成会、障害福祉事業所と田原市教育委員会などに所属する14名で構成しています。私たちの活動は、障害者の人権教育に役立つ教材として絵本を作り、その絵本の読み聞かせを通して人権教育を推進することです。

これまでに、障害者の人権をテーマにした2冊の絵本と、障害についてのリーフレットを作成し、市内の公共施設などに配布しました。絵本のストーリーは、委員会メンバーが、障害のあるお子さんの保護者の方などからお話を伺い、その体験談を基に考えたものです。物語には、たくさんの方の思いがこめられ、皆さんのおかげで心温まる絵本になりました。

また、講演会を2回開催したところ、多くの市民の皆さんが足を運んでくださいました。講演会の演題のように、障害のある人もない人も、「すべての人が暮らしやすい」「すべての人がきらりと生きられる」そんなまちになることが私たちの願いです。



絵本のお話を作るためのヒアリング



平成20年度の講演会



スクリーンに映しての読み聞かせ



絵本「じんけん2」

- ぼくのペースで行かせてね
- 逆転(停電/手話通訳/勝利の女神)

※2つのお話です。`逆転`は3つのエピソードに分かれています。



絵本「じんけん」

- これってNIPPON?
- ある日魔法にかけられた
- 四つ葉のクローバー

※3つのお話が収められています。

絵本は市内の図書館、小中学校、保育園などでご覧いただけます。また、スクリーンに映して読み聞かせをしたいという方には、貸し出し用のCDもご用意できますので、生涯学習課(☎23局3531)へお問い合わせください。

※絵本は市内の図書館で借りることができます。販売はしていません。



●平成21年度の委員会メンバー

リーフレット



発達障害についてイラストなどを用いてご紹介しています。いろいろな発達障害があります。ですが、よくよく考えてみると、その特徴は誰にも当てはまりそうなこと。「障害」と「ふつう」の線引について、考えてみませんか。みんなが一人ひとりの個性を大切にしなければ、「障害」はなくなるかもしれません。リーフレットを活用したいという方は、生涯学習課までお問い合わせください。

メンバーの皆さんから

2年間の取り組みが、文部科学省からも評価され、愛知県の代表として、2月に東京で活動発表を行いました。今年度も、講演会の企画や、絵本とリーフレットの普及活動を続け、障害者の人権教育に取り組んでいきます。

●問い合わせ先

田原人権ファンクション委員会事務局(生涯学習課内)
☎23局3531 FAX 22局3811
✉syogaku@city.tahara.aichi.jp

絵本「じんけん2」の原画展



絵本に使用した原画をご覧いただけます。ぜひお越しください。

- 期間 4月27日(火)～5月13日(木)
- 場所 田原文化会館ギャラリー
(月曜休館/ただし祝日の場合はその翌平日)

市民参加

平成22年度

広報サポーターを募集します。

「広報たはら」の紙面づくりやケーブルテレビへの出演など市の広報活動に参加してみませんか？



<応募要領>

- 応募資格** 市内にお住まいの18歳以上の方
※ただし、公務員や公職にある方、高校生を除きます。
- 活動内容** 次の中から希望するもの
 - 1 広報記事の企画
 - 2 市民記者(取材・記事作成)
 - 3 CATV市政情報番組の企画
 - 4 CATV市政情報番組のナビゲーター出演
 - 5 イベント・風景などの撮影
- 募集人員** 7名以内
- 募集期間** 5月14日(金)まで(必着)
- 応募方法** 応募用紙に「氏名」「性別」「生年月日」「住所」「連絡先」「職業」「応募動機・抱負(100文字以内)」「参加したい広報活動」を記入のうえ、直接持参または郵送・ファックス・Eメールにて
※上記の必要事項が記入されていれば、任意の用紙でも可
※応募用紙は市役所広報秘書課で配布のほか、田原市ホームページからもダウンロード可

- 選考方法** 意欲や地域性などを考慮して、市の選考により決定
※応募者多数の場合は、中学校区単位で1名とします。
- 発表** 応募者に通知のほか、広報にも掲載
- 活動期間** 平成23年3月末まで
- 謝礼** 年10,000円

平成21年度広報サポーターの感想紹介

- 広報の取材や記事を通して、人とのつながりが増えました
- やりがいもあり、楽しくできました
- 読者からの生の反応がうれしかったです



【応募・問い合わせ先】

田原市役所 広報秘書課
〒441-3492(住所不要)
☎22局0138 FAX 23局1691
✉koho@city.tahara.aichi.jp
HP http://www.city.tahara.aichi.jp/

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介します。

尾川智子さん (東神戸町生まれ)

フリークライマー

●神戸小学校・東部中学校を卒業。少女時代から宇宙飛行士にあこがれる。早稲田大学理工学部にて在学中、誘われて参加した国体山岳競技で準優勝し、クライミングの魅力にひきこまれ、プロのアスリートを目指す。2003年に「Asian X-games」のボルダリング部門で優勝し、アジアチャンピオンに輝く(2006年にも優勝)。その後、2005年全米大会で日本人女性として初優勝するなど、数々の世界大会で活躍するとともに、2008年には化粧品品のテレビCMにも起用され知名度が上昇。同年には日本人女性初となる「難度V12」の岩を制覇。現在、自然の岩場を舞台に、高難度の岩に挑戦中。▶公式ブログ <http://ogawatomoko.aspotajp/>

- ※1 ボルダリング=道具を一切使わずに岩や壁を登るスポーツ
- ※2 岩の難易度に応じV0～V16まである。V12は女性の世界トップに並ぶ



夢は、自分で見つけるもの

—子どものころのエピソードは？

【尾川さん】家が兼業農家だったので、キャベツ畑でままごをしたり、ブロッコリーの出荷のお手伝いをしたりしていました。東ヶ谷海岸の砂浜や中州での遊びは楽しかったです。小学校では体操、中学校ではバレーボールをやっていました。もともとスポーツは好きでしたが、短距離走は苦手で、みんなが敬遠する長距離走をがんばるタイプでした。

—宇宙飛行士にあこがれていたそうですね

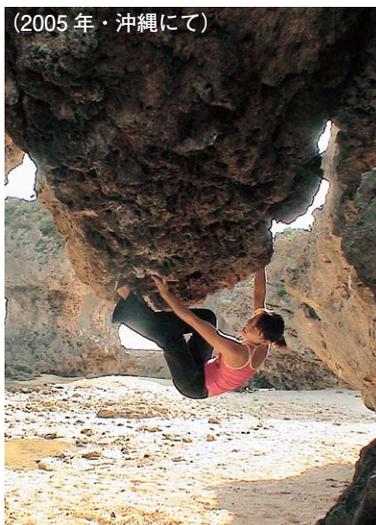
【尾川さん】毛利衛さんが宇宙に行ったことに影響を受けました。子どもながらに、募集要項を見て必要な勉強を想像したり、難しい科学雑誌を読んだりしていました。その雑誌に掲載されていた東京大学教授の記事を楽しみにしていたことから、純粋な理由で「東大を目指そう」と思い、勉強に励みました。でも、合格しませんでした。努力してもかなわないものがある、ということを実感しました。

—現在の活動を始めたきっかけは？

【尾川さん】中学生のときに、「宇宙に近づける」という思いで富士山に登頂するなど、山に親しみがあったので、大学でワンダーフォーゲル部に入部しました。たまたま不足していた山岳競技のメンバーに誘われ、初めてクライミングに触れました。練習は厳しく、必死でした。「山登りを楽しむために始めたのに、なぜ苦しんで競技を？」という疑問もありましたが、最終的には国体で準優勝できました。その達成感が、私をフリークライミングの道へと向かわせたんだと思います。



▲尾川さんの手。指がまっすぐ伸びない



▲岩を登るには、体力だけでなく集中力とパズルを解くような戦略眼も必要

—「世界」を舞台に活躍されています

【尾川さん】ボルダリングでアジアチャンピオンにもなりましたが、最近は若い世代の台頭があり、体力でかなわなくなってきました。そこで、視点を変え、岩場というフィールドを舞台に、岩の難易度で「世界」を目指しているように思いました。私が達成した「難度V12」は、相撲の番付に例えると男性を含めて「関脇」くらい。今は、「V13」に2年間ほどチャレンジしています。もちろん、「女性初」が目標ですが、ライバルを気にすると自分を見失ってしまいます。「勝負」ではなく、「登る」という本質的なことに、長い時間をかけて取り組んでいく。そうすることで、「オンリーワン」の自分らしさ、強さを手に入れたと思います。

—田原市の若い世代にメッセージを

【尾川さん】何事も、あきらめたら終わり。私は、宇宙飛行士の夢を貫けなかったことを少し後悔しています。でも、常に自分から夢や目標を見つけようと動いてきたからこそ、さまざまな出会いがあり、今の歩みにつながってきました。目標を達成するためにモチベーション(動機付け)を維持するのは大変ですが、それを考えることも自分の成長につながると思います。そして、「一番大切な「自分が楽しむ」ということを、忘れないでください。」



学校は、今…

SCHOOL REPORT ②

学校生活の一コマ
を紹介

読者からの、「学校での子どもたちの様子について教えて！」の声にお応えし、今回は、学校生活の中から、クラブ活動と美術科授業についてご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

ふるさとクラブで掘切のいいところを見つけよう！（堀切小学校）

堀切小学校のクラブの一つ「ふるさとクラブ」は、ふるさとの良いところ再発見、をテーマに活動しています。昨年度は、校区のいろいろな場所に出かけました。

春は初立池で、まだ尾びれがある小さなカエルを見つけたり、きれいに咲くサクラやショウブを眺めたりしながら楽しみました。夏は堀切海岸に出かけ、みんなで砂の造形に挑戦し、近くの用水路でのザリガニ釣りを、秋は渥美総合運動公園の隣にある渥美の森で拾った木の実や枝を使い、リースなどを作りました。冬はフラワーパーク跡地まで菜の花を見に行ったり、一色海岸で岩のりを採ったりしました。

四季折々の自然の中で、夢中になって取り組む子どもたちの姿に、クラブの活動を通して地域のよさに気づき、自然を大切にしていこうという気持ちが芽生えてきたのを感じています。



●砂の造形に挑戦(堀切海岸)



●菜の花畑で記念撮影(フラワーパーク跡地)



●お互いのデザインについて意見交換



●完成したマイドリームフラッグ

2年生の美術科「マイドリームフラッグ」を作ろう！（泉中学校）

泉中学校では昨年度、2年生の美術の授業で、泉港でお正月に見られる大漁旗をイメージし、自分の夢を応援する旗づくりに挑戦しました。

生徒が今の自分自身を見つめ、将来どんな人になりたいかという夢を描き、それを「文字・波・もの・色」で表現しました。そして、それぞれの生徒が考えた図案についてグループ内で話し合い、デザインを高め合い、旗を完成させました。

旗づくりを通して、生徒たちは「私は、周囲の人に感謝の気持ちを忘れないで生きていきたい」「僕の可能性は無限大。あきらめたくない」「自信をもって自分の生き方を貫ける人になりたい」など、将来に向けた熱い夢を抱いたようです。そして、1月28日に行った立志式では、2年生全員の旗を飾り、全校生徒・保護者の方々の前で、一人ひとりが自分の夢を堂々と発表しました。

3月14日 日

市民の安全は
私たちに任せて



▲消防団の観閲を行う鈴木克幸田原市長(写真中央)

田原市消防団観閲式がはなのき広場で行

われました。参加した市内10分団、約650名の消防団員は、市長の観閲や服装・機械器具点検を受けた後、各分団ごとに消防車両を従えての分列行進やラッパ隊の演奏を披露。消防団の団結力を示しました。

4月2日 金

期待でいっぱい
新生活がスタート



▲鈴木校長に誓いの言葉を述べる鈴木咲絵さん(右)

田原福祉専門学校の入学式が行われ、46

名が入学しました。市外からの新入生も多く、中には外国の方や田原市の友好都市出身の方もいました。大きな期待を抱きながら始まった学生生活。2年間で介護福祉士の国家資格取得を目指します。

3月10日 水

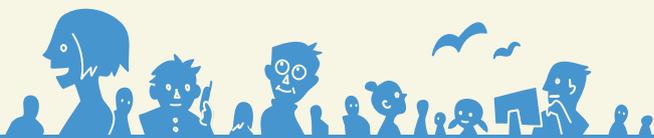
田原市で撮影
水産庁長官賞！



▲「夫婦で仲良く」(巽三喜男氏撮影)

農山漁村男女共同参画活動いきいきフオ

トコンクールで、田原市が推薦した作品が水産庁長官賞を受賞しました。写真は、田原市西山町の西ノ浜で撮影されたもので、撮影者の巽三喜男さん(豊川市)と、推薦団体の田原市が表彰を受けました。



田原市民活動支援センターのページ

団体紹介 自然と触れ合うよこびを! 渥美半島の野池を守る会

「渥美半島の野池を守る会」は、市民をはじめ多くの方が豊かな渥美半島の自然と触れ合うことを推奨し活動しています。自然と触れ合う中でその大切さを知り、皆さんの生活やレジャーに密接する地元の自然と仲良くする心を育てましょう!



▲渥美半島の野池を守る会メンバー



▲清掃活動



▲第3回しみのひろば

●活動紹介

「命の源 水辺を守る」活動

水辺の清掃活動を通じ、自然環境やそこに生きるさまざまな生き物の命の尊さなどについて、楽しみながら学びます。

2/21(日)開催「しみのひろば」に参加

NPOやボランティア団体の交流会で、他団体との交流や、市民の皆さんに活動をご紹介します。

【随時メンバー募集中】

野池清掃日 毎月第3日曜日9:00~12:00(雨天中止)

*問い合わせ先：代表 村瀬 猛 ☎(090)3425局9800
HP <http://www6.ocn.ne.jp/~pot-kazu/index.htm>

暖かくなってきて、水辺の生き物たちも元気に動き始めています。家族や友達と一緒に、釣りざおを持って魚釣りに出かけてみませんか。



田原市民活動支援センター情報 (センター主催のイベントを中心に紹介)

4/29
(木・祝)

14:00~

田原福祉センター
3階大会議室

<申込不要>

平成22年度「田原市市民協働まちづくり事業補助金公開審査会」を開催

市民協働まちづくり事業補助金制度は、市民活動団体などが提案する公益性の高い活動で、その活動の自立を促し、目的を達成するために平成21年度からスタートしました。審査は応募団体によるプレゼンテーション方式で行われ、公益性、必要性など8項目の審査基準により審査します。審査会は公開で行いますので、皆さんぜひご聴講ください。

*問い合わせ先：市民協働課 ☎23局3504

助成金情報

助成事業名	内容や対象など	申請期日	申し込み・問い合わせ先
第17回活動助成	地域社会の発展、福祉の向上に貢献するような実践活動を展開する市民グループの活動	5/6(木) ※当日消印有効	社団法人地域問題研究所 ☎(052)232局0022 HP http://www.chimonken.or.jp
アジア隣人プログラム	隣人とネットワークを形成し、コミュニティの創出を促進する取り組みなど、新しい視点・活力・知恵を取り入れた実践的なプロジェクト	WEB提出5/7(金) ※15:00必着 郵送などで提出 5/12(水)※当日消印有効	トヨタ財団 ☎(03)3344局1701 HP http://www.toyotafound.or.jp

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています。(毎週金・土・日曜日午後2時~7時、田原文化会館フリースペースにて) また、この市民活動支援センターのページに掲載する、市民活動情報も募集しています。

※紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がございます。

●お問い合わせ先：市民協働課 ☎23局3504 FAX 23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp



おしらせ				
		INFORMATION		

募集

WANTED

まちの環境美化対策 「アダプトプログラム(里親制度)」

田原市では、まちの環境美化を推進していくためのアダプトプログラム(里親制度)への参加者を募集します。



アダプトプログラムとは、市民と市が協力し合い、市が管理する道路、公園、河川などの公共施設を市民がボランティアとなって管理する制度です。アダプト(adopt)と

は英語で『養子縁組をする』という意味で、アダプトプログラムは『里親制度』と訳されます。市民の方に里親になっていただき、道路や公園、河川などを養子とみなし、親が子どもを大切にするように清掃・美化などの活動をしていただきます。

※詳しくは、お問い合わせください。

●活動場所

市が管理する道路・公園・河川などの公共施設

●活動内容

ごみの収集、除草、樹木の管理、活動計画書、報告書の提出

●支援内容

- 環境美化に必要な物品(ごみ袋、軍手)の支給や貸し出し
- 希望者にはボランティアの名称を表示するサイン看板の設置
- 活動時に事故が発生した場合の補償
- その他活動に必要な事項

●対象者

市内に在住・在勤・在学する個人・事業者・団体

●申し込み

所定の申し込み用紙に記入のうえ、維持管理課へ直接(申し込み用紙は、維持管理課で配布するほ

か市ホームページからもダウンロード可)

●その他

申し込み後に、市と協議して「合意書」を交わします。

▼維持管理課

☎23局4103 FAX23局0180

✉jikanri@city.tahara.aich.jp

🌐http://www.city.tahara.aich.jp/

流域モニタリング 一斉調査参加者

▼対象⇨市内の複数名で構成するグループ(中学生以下の子どもを含む場合は保護者同伴) ▼調査期間⇨6月5日(土)の前後1週間 ※この期間内に、都合の良い日を1日決めて調査していただきます。



▼内容⇨あいちの水循環再生指標を用いて、身近な水辺(河川、海、ため池など)の水質、水量、生態系などを調べて調査結果を報告

▼参加料⇨無料 ▼申し込み

⇨5月10日(月)までに環境衛生課で配布する参加申込書に必要事項を記入のうえ提出

▼環境衛生課

☎23局3541 FAX23局0180

✉kanky@city.tahara.aich.jp

長野県宮田村 りんごの木オーナー

平成11年に田原市と友好提携を結び、昨年で10周年を迎えた宮田村では、交流事業の一環として、JA上伊那宮田支所が「りんごの木オーナー」を募集しています。



なお、昨年度に契約したオーナーの方には、継続希望をお伺いするはがきを郵送していますので、ご記入のうえご返送ください。

♥サンふじA

●価格⇨2万5000円(税込み)

●数量⇨180個保証

♥サンふじB

●価格⇨3万8500円(税込み)

●数量⇨300個保証

▼申し込み⇨5月10日(月)までに電話にて

▼JA上伊那宮田支所営農課

☎(0265)84局1201

生活

LIFE

夕陽が浜・シーサイド光崎 宅地分譲中

◆夕陽が浜

■所在地 田原市夕陽が浜地内

■宅地面積

267・40㎡(80・88坪)

510・18㎡(154・32坪)

■譲渡価格

936・5万円～1734・7万円

※上下水道、ガス管の宅地内引き込み工事完了

▼田原市土地開発公社(田原市役所建築課内)

☎23局3527 FAX22局3811

✉kentiku@city.tahara.aichi.jp

HP <http://tahara-takuchidct.org/>

■夕陽が浜宅地分譲地の所在地



◆シーサイド田原光崎

■所在地 田原市光崎地内

■宅地面積

202・40㎡(61・22坪)

323・37㎡(97・81坪)

■譲渡価格

806万円～1305万円

※上下水道、ガス管の宅地内引き込み工事完了

▼愛知県住宅供給公社 事業課

(名古屋市中区丸の内3-19-30)

☎(052)954局1331

【土・日・祝日】現地案内所

☎(0531)23局4319

■シーサイド田原光崎宅地分譲地の所在地



ケーブルテレビ「街角ネット たはら」放送時間を変更

ティーズチャンネルの番組編成の見直しに伴い、5月1日(土)から、「街角ネットたはら」の放送時間が

変更になります。※現在の放送時間よりも各20分早くなります。

◆5月からの放送時間

①午前7時20分 ②午後0時20分

③午後3時20分 ④午後6時20分

⑤午後10時20分 ⑥午前0時20分

盗難事件にご注意ください

田原市内で、2月にスパーや観光地の店舗などを狙った盗難事件が連続発生しました。5



月の連休を迎える前に、次のポイントを参考に防犯対策をし、被害の未然防止に努めましょう。

☑防犯のポイント

・現金管理の徹底 夜間・休日などの閉店時には、レジスターなどの現金を回収し、店舗内に現金を保管しない

・防犯対策の推進 窓や出入口には複数のカギを取り付け、施錠を徹底する

・防犯意識の向上 人ごととは思わず、「常に狙われている」という意識を持つ

▼田原警察署 生活安全課

☎23局0110

伊勢湾海上交通センターの施設を一般公開します

5/16(日)

5月12日の「海上保安の日」に伴い、海上保安庁の役割と活動をより理解していただくために、施設を一般公開します。

▶日時=5月16日(日)午前10時～午後3時 ▶場所=第四管区海上保安本部 伊勢湾海上交通センター(伊良湖町) ▶内容=海上保安業務説明、屋上開放、制服の試着、ペーパークラフト作成、管制室レーダー見学など ▶見学科=無料 ▶その他=事前の申し込みは不要ですので、当日直接会場へお越しください。なお、天候などにより中止する場合がありますので、ご了承ください。

▶第四管区海上保安本部 伊勢湾海上交通センター

☎34局2700 FAX34局2704



●センター上部からの眺めは絶景

広がる未来へ

48

＊たはらエコ・ガーデンシティ構想

◎田原市エコエネルギー導入等補助金制度のご紹介

環境にやさしい太陽光発電施設の設置や低公害車を購入した市民の方・市内事業所に対して、補助金制度がありますのでご利用ください。

なお、補助要綱や申請様式などが平成22年度から変わりましたので、ご注意ください。

◆太陽光発電施設

作られた電気はご家庭で利用し、余った場合は電力会社に売電できます。設置費用はkWあたり平均約60～75万円です。



◆低公害車

ハイブリッド自動車や電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車対象です。(低排出ガス車は補助対象外)



※高効率給湯器設置補助金は平成22年度から廃止しました。(国の補助金は、平成22年9月30日まで)

■平成22年度エコエネルギー導入等補助金制度

補助施設等	補助額	申請時期	他の補助
太陽光発電 (住宅用・事業用)	上限32万円 (8万円/kW)	工事着手前 (2週間程度前)	国 (住宅用)
低公害車 (個人用・事業用)	上限5万円 (車両本体価格の5%)	新車登録・支払完了後 30日以内	国・県 (事業用)

- 市税などの滞納がある場合は、補助金を受けることができません。
- たはらエコチャレンジ宣言に登録している方(事業所)が対象となります。
- 平成22年度中に設置や購入が完了するものが対象となります。
- 申請書類は、本人または家族の方が、直接エコエネ推進室に提出してください。
- 予算がなくなり次第、受付を終了します。

◆補助要綱や申請様式は、市ホームページからダウンロードできます。詳細はお問い合わせください。

◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人610人・事業所28か所(3月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源とリサイクル

皆さんの身の周りに、リサイクルやエコに関する色々なマークがあるのをご存じですか？今回は、買い物をする際、環境にやさしい商品を選ぶ目安になるマークをご紹介します。

エコマークってなんだろう？



エコマークは、生産から廃棄までの過程全体を通して、環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められ、厳しい審査基準をクリアした商品に付けることができるものです。

また、マークの下には環境保全に役立つと認められたその商品の特長が書いてありますので、マークを見つけたら確認してみたいかがでしょうか。

どんな商品に付いてるかな？



- 文房具
 - 再生紙ノート
 - 再生プラスチック製のボールペン
 - 通常は廃棄される卵の殻などを原材料に使った消しゴム
 - 繊維製品
 - ペットボトルを再利用した洋服やカーペット
- ※他にも環境に配慮したさまざまな商品に付いています

【参考】財団法人環境協会エコマーク事務局
http://www.ecomark.jp/



このマークの「e」は、「環境(Environment)」と「地球(Earth)」の頭文字を表し、それを私たちの手で守ろうという思いが込められてデザインされています。

買い物の際は、エコマークが付いている商品を選んで、地球に優しい生活を始めてみてはいかがでしょうか。

▼清掃管理課
☎23局35508
FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

24

交流通信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎23局3507

姉妹提携20周年 田原市・設楽町交流スタンプラリー

今回は、田原市と姉妹都市 設楽町との共同事業である、交流スタンプラリーをご紹介します。

昨年に引き続き、今年度も交流スタンプラリーを開催します。応募用紙に指定のスタンプを押して応募すると、抽選で賞品が当たります。スタンプラリーに参加し、設楽町の「山の自然」を満喫してみたいかですか。

●開催期間

4月28日(水)～平成23年2月28日(月) ※応募はがき必着

●参加資格

どなたでも

●応募方法

応募用紙に、指定の4つのエリア(設楽町A・B、田原市C・D)から各1つ、計3つ以上のスタンプを集め、必要事項を記入のうえ、直接または郵送にて

●応募先

田原市役所、渥美支所、赤羽根市民センター(旧赤羽根支所)、設楽町役場、津具総合支所

●賞品

国内旅行券(1本)、グリーンメッセージ宿泊利用券1万円分(6本)、設楽町特産品(40本)など計112本

●お問い合わせ

政策推進課 ☎23局3507



※詳しくは、市役所、渥美支所、赤羽根市民センター(旧赤羽根支所)、各ラリースポットにある応募用紙または市ホームページ(<http://www.city.tahara.aichi.jp>)をご覧ください。

●市内で応募用紙を配布しているラリースポット

「道の駅」田原めつくんはうす・あかばねロコステーション・伊良湖クリスタルボルト、蔵王山展望台、サンテパルクたはら、シェルマよじご、白谷海浜公園

●速さ
海の水深が深いほど、津波の速度は速くなります。水深10mでは時速約36km(人が全力疾走するくらいの速さ)ですが、水深

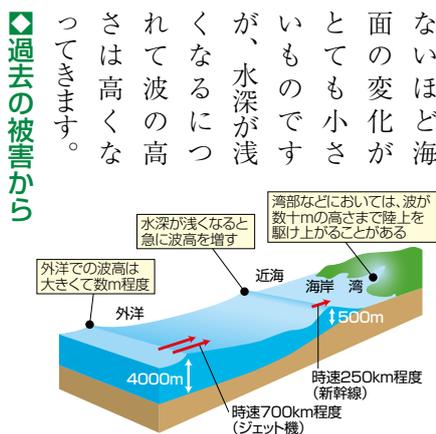
◆津波の伝わり方
津波の伝わる速さと高さは、海の深さが影響します。

◆津波とは
海底で起きた地震や海底火山の爆発などが原因で、海水が陸地に押し寄せる現象が津波です。「tsunami」は国際語としても通用します。これは、日本で津波が多く発生し、研究や対策が進んでいることを物語っています。

◆過去の被害から
1960年、チリ地震による津波では、全国で死者・行方不明者が142名、家屋の倒壊や流出など多大な被害がありました。今年2月28日の津波で日本に大きな被害がなかったことに安心せず、津波注意報などの情報を確認し、いち早い避難行動を心がけてください。

●高さ
外洋での津波は、津波と認識できないほど海面の変化がともも小さいものです。水深が浅くなるにつれて波の高さは高くなってきます。

●津波と認識できないほど海面の変化がともも小さいものです。



かんちゃん

防災まめ知識

59



忍びよる巨大地震

津波災害を防ぐために① 津波とは

4000mでは時速約700kmにもなります。

外洋での津波は、津波と認識でき

ないほど海面の変化が

ともも小さいものです。

水深が浅くなるにつ

れて波の高さは高くな

ってきます。

1960年、チリ地震による津波

では、全国で死者・行方不明者が

142名、家屋の倒壊や流出など多

大な被害がありました。今年2月28

日の津波で日本に大きな被害がな

歴史探訪

クラブ! 其の109

History Inquiry Club

文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

地域で受け継がれる偉人の業績

江戸時代、五代將軍徳川綱吉の元和元年(1681)、中山村のこと。凶作で苦しむ村人を救うため、中山村領主、旗本清水家の西山町の松林の葉や立ち木の払い下げを、地元代官に願い出たが許されず、江戸に常勤の領主、清水権之助へ訴えた庄屋がいました。これは正式な手続きをふまない訴えでしたので、この罪で当時の庄屋、河合伊左衛門・久右衛門は処刑されましたが、二人の行動は、村を救った勇氣あるものでした。



▲義民伊左久右衛の碑

明治6年、税や堤防修理などの負担が村の生活を圧迫し、再び中山村は危機に落ち入りました。この時も、村をあげて必死に活動したおかげで、西山町の松の払い下げ許可が下りました。昭和27年、地区内で計画された警察予備隊(現自衛隊)演射場の反対運動の成功も、彼らが守ってくれたものだと地域の方々は考えました。彼らの供養塔がある西湖院門前の碑は、きれいに管理され、感謝の気持ち伝わってきます。現在でも命日に当たる2月28日に、地域をあげて二人の供養が盛大に行われ、地元では「伊左久右衛」と呼び親しまれています。



▲清右衛門の顕彰碑

同じ江戸時代、野田村のこと。芦ヶ池の南の丘は比留輪山と呼ばれ、赤羽根村は自らの開墾地として、野田村は燃料・肥料用の松などを確保する場として、その権利をそれぞれに主張しました。田原藩は、いったんは野田村の主張を認めたにも関わらず、一転して赤羽根村の開墾を認めました。野田村にとっては受け入れがたいことで、不服とした野田村は寛文13年(1673)江戸の藩主に直訴しました。村人90名を送り込むなど数々の困難を乗り越え、寺社奉行、老中など幕府への直訴を粘り強く行い、主張が認められたのでした。しかし直訴が成功した替わりに、藩主の名にそむいた罪で、中心となった清右衛門は死罪、関係者12名は追放、村には罰金が課せられるなど多くの犠牲が払われました。

『ひるわ山出入争動記』(闍目作司著)の発刊などの事業を展開し、清右衛門の顕彰を進めました。毎年4月15日には感謝祭が行われ、野田小学校では劇も演じられています。

中山の河合伊左衛門、久右衛門、野田の河合清右衛門らは、村人の生活を守るため、命を投げ打って行動しました。その行動に感謝し、300年を経ても地域でその業績が語り継がれ、過去の歴史と現在が無関係でないことに感激します。偉人の伝記本も私たちの心を打ちますが、彼らこそ、自らの地域を救った英雄といえます。身近な人でも、尊敬に値する人たちはたくさんいます。まずは足下から見直してみたいいかがでしょうか。

(増山)

今月の「表紙」

▼サンテパルクたはらのサンテガーデンでは、春の花リピングストーンデザインが満開。辺りは、まるでパステルカラーのじゅうたんを敷きつめたようでした。一面のお花畑もステキですが、私がこの時期にオススメしたいのは、浜辺に咲く海岸植物の花。ハマヒルガオなどのきれいな花が見られますよ。(〇)

「表紙の写真」サンテパルクたはら